

土木学会 エネルギー委員会主催 報告・講演会

(2026年4月14日(火)、13:30~16:30; 土木学会講堂)

**報告書「除染により発生した除去土壌等の処理・処分対策における
土木技術の適用事例の調査・整理」の公開報告会&講演会**

2026年4月14日

勝見 武

(京都大学大学院 地球環境学堂 教授)

**土木学会 エネルギー委員会
「放射能レベルの低い廃棄物等の合理的処分方策
に関する研究小委員会」 委員長**

本日の報告・講演会のプログラム

13:30～13:35 【開会挨拶】

- ・勝見武（京都大学大学院 地球環境学堂 教授； エネルギー委員会委員／「放射能レベルの低い廃棄物等の合理的処分方策に関する研究小委員会」委員長）

13:35～15:00 【第1部：成果報告会（報告書公開）】（質疑応答を含む）

報告書「除染により発生した除去土壌等の処理・処分対策における土木技術の適用事例の調査・整理」の概要報告

エネルギー委員会 前「低レベル放射性廃棄物・汚染廃棄物対策に関する研究小委員会」

- ・河西基（（株）アサノ大成基礎エンジニアリング／電力中央研究所； 前研究小委員会幹事長）
- ・土宏之（清水建設； 前研究小委員会・分科会1（除染廃棄物対策検討）主査）
- ・納多勝（大林組； 前研究小委員会・分科会1（除染廃棄物対策検討）副主査）

15:00～15:10 <休憩>

15:10～16:15 【第2部：講演会】（質疑応答を含む）

- ・講演タイトル：「中間貯蔵除去土壌等の福島県外最終処分について」
- ・講演者：中野哲哉（環境省 環境再生グループ（環境再生・資源循環局）、復興再生利用・最終処分事業推進担当参事官）

16:15～16:20 【閉会挨拶】

- ・谷 智之（東電設計株式会社； エネルギー委員会 委員長）

<司会進行：渡邊保貴（電力中央研究所； エネルギー委員会・「放射能レベルの低い廃棄物等の合理的処分方策に関する研究小委員会」幹事長）>

趣旨

- ◆ 2011年3月の東日本大震災の大地震に伴う東京電力福島第一原子力発電所（以下、「1F」）1～4号機の未曾有の事故が発生してから、15年が経過した。
- ◆ 1Fオフサイトにおける、除染事業～除去土壌等の除染廃棄物対策～中間貯蔵から、今後の県外最終処分の円滑な実現に向けて、減容化・再利用技術などの実証試験事業と最終処分に係る技術の開発・高度化や社会的受容性確保に関し、国を挙げてのこれまでの取り組みの状況などについて、特に土木技術に焦点を当て、公開されている報告書や文献等の情報を調査・整理と分析を行い、体系的に調査・整理した結果を報告書に取りまとめた。
⇒報告書公開にあたり、第一部では報告書内容の概要報告を行う。
- ◆ また、環境省の復興再生利用・最終処分事業推進担当の中野哲也参事官をお招きし、“中間貯蔵除去土壌等を中間貯蔵開始後の30年以内（2045年3月）に福島県外に最終処分する”という国の方針の実現に向けて、除去土壌等の対策に関して、国としてのこれまでの取り組み状況と共に、今後、国民の理解醸成を図りつつ、減容・再利用方策の推進と県外最終処分の実現をいかに図って行くかについて、第二部でご講演していただく。
- ◆ 今回公開の報告書や講演のお話が、ご参加いただいた皆様の有益な参考となり、今後の福島における除去土壌等の県外最終処分する方策が国一丸となって円滑に進み、福島の復興・再生が加速的に進むことに寄与できれば幸いである。